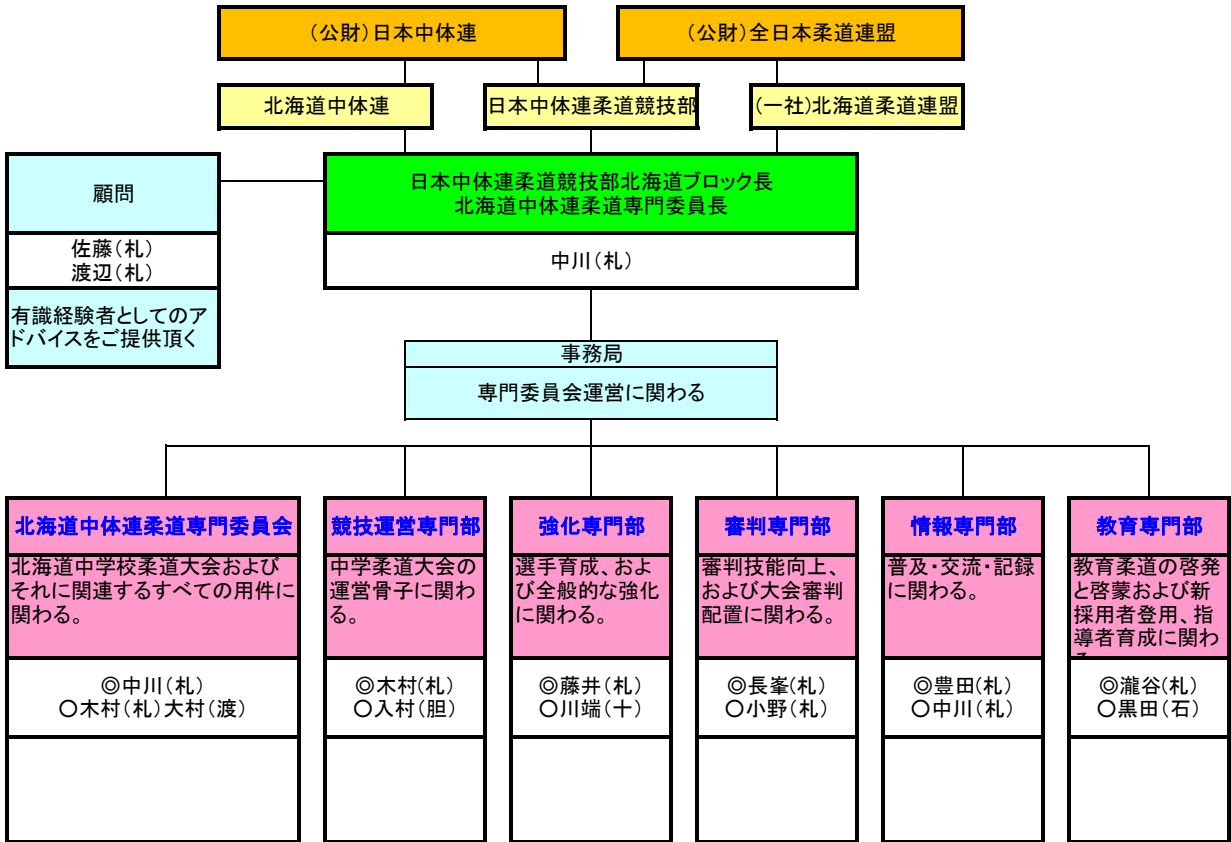


平成26年度(2014年度)
北海道中学柔道専門委員会(案)

2013/9/15



<組織の意識するところ>

- ① 今後、北海道各地区において、競技経験のある専門委員の減少あるいは不在が進むと予想し、北海道中学校柔道大会を円滑に運営する具体的なシステム、つまりは**大会運営に関わるノウハウを共有**するシステムが不可欠である。
- ② 柔道を取り巻く様々な課題について、世間に対して**正しい柔道のイメージを発信**する必要がある。
- ③ 中学校保健体育科における武道必修化に関連、および柔道全般に関する**安全教育の啓発**が急務である。
- ④ **中学校柔道部減少に歯止め**をかけるため、および若手指導者育成のため、具体的活動が必要である。
- ⑤ 大会に出場する選手諸君が日頃の実力を発揮できるよう、**計画的に支援する体制**が必要である。
- ⑥ 中学校柔道指導者が大会審判規定に精通し、大会そのものが信頼される環境となることが**競技普及の要**である。
- ⑦ ITを駆使し、柔道の魅力を**広く伝える**ことは上記すべてにおいて効果的である。
- ⑧ 北海道の地理的特徴を課題としつつ、**指導者間の交流**をもっと密にしたいと考える。
- ⑨ 当面、平成27年度北海道全中函館開催成功に向かうことを重要な意志とする。
- ⑩ 将来、委員会の顔ぶれが変わろうとも、土台は流されないことを期待する。